

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【公開番号】特開 2011-52034 (P2011-52034A)

【公開日】平成 23 年 3 月 17 日 (2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-011

【出願番号】特願 2009-199303 (P2009-199303)

【国際特許分類】

C 08 L 77/06 (2006.01)

C 08 G 69/26 (2006.01)

【F I】

C 08 L 77/06

C 08 G 69/26

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 15 日 (2012.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明は、

(1) (a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂 100 重量部に対して、(b) 難燃剤 1 ~ 50 重量部を配合してなる難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(2) 前記 (b) 難燃剤がリン系難燃剤、窒素系難燃剤、金属水酸化物系難燃剤および臭素系難燃剤から選ばれた少なくとも 1 種であることを特徴とする (1) 記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(3) 前記 (b) 難燃剤がメラミンシアヌレートであり、(b) 難燃剤の配合量が、(a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂 100 重量部に対して 3 ~ 20 重量部であることを特徴とする (1) または (2) に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(4) 炭素数 6 以上のジカルボン酸が、アジピン酸、アゼライン酸、セバシン酸、ドデカン二酸、テレフタル酸、およびイソフタル酸から選ばれる少なくとも 1 種である (1) ~ (3) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(5) 前記 (a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂の大気平衡吸水率が、3.0% 以上である (1) ~ (4) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(6) さらにガラス繊維を配合してなる (1) ~ (5) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物、

(7) (1) ~ (6) のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物からなる成形品、である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂 100 重量部に対して、(b) 難燃剤 1 ~ 50 重量部を配合してなる難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 2】

前記 (b) 難燃剤がリン系難燃剤、窒素系難燃剤、金属水酸化物系難燃剤および臭素系難燃剤から選ばれた少なくとも 1 種であることを特徴とする請求項 1 に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 3】

前記 (b) 難燃剤がメラミンシアヌレートであり、(b) 難燃剤の配合量が、(a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂 100 重量部に対して 3 ~ 20 重量部であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 4】

炭素数 6 以上のジカルボン酸が、アジピン酸、アゼライン酸、セバシン酸、ドデカン二酸、テレフタル酸、およびイソフタル酸から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 5】

前記 (a) 1, 5 - ジアミノペンタンと炭素数 6 以上のジカルボン酸を主要成分として含有する単量体から構成されるポリアミド樹脂の大気平衡吸水率が、3.0% 以上である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 6】

さらにガラス繊維を配合してなる請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物からなる成形品。